



公共施設マネジメント(公共施設に再編)について

Q5

小平市公共施設マネジメントは、総務省が 2014 年に公共施設等の総合的、計画的な管理を推進するため、各自治体に公共施設等総合管理計画（財政措置を講じて国主導で推進している）を速やかに策定するよう要請したことに基づくものです。市制施行 100 周年に当たる 2062 年度（約 40 年後）までの長期に渡って 5 期に分けて計画されました。

小平市公共施設マネジメント推進計画概要版 延べ床面積の削減目標より抜粋

第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	合計
2017-2026	2027-2036	2037-2046	2047-2056	2057-2062	
± 0 %	▲ 6 %	▲ 7 %	▲ 6 %	▲ 2 %	▲ 21 %
± 0 m ²	▲ 18,786 m ²	▲ 21,917 m ²	▲ 18,786 m ²	▲ 6,262 m ²	▲ 65,751 m ²

※「%・m²」は、2016年4月1日現在の全施設の延べ床面積 313,103m² に対する縮減率・縮減面積

Q 公共施設は市内に一定の距離に配置されています。総量を減らす場合、数を減らしますか、面積を減らしますか？

1. 数を減らす 2. 面積を減らす 3. 数も面積も減らす 4. その他

■ 小林洋子

4) その他



数や面積に固執しないで小平プランを作り上げていく必要がある。まずは将来の人口減少を見据え、面積や数を減らすこと前提に計画を作っていく必要がある。しかしそれを実施するのは今すぐではない。公共施設の再編成やその計画づくりには市民と意見交換し一緒に作り上げていくことが必須であり、それには時間がかかる。現在は人口減少になっていないが、20年後、30年後、人口が減り始めてからそこから『ではどうしよう?』と計画を立て始めたのでは間に合わないと思う。また、数（場所）だけは減らさない、面積 20%減、など数字にこだわるのではなく、トータルに考えていく必要がある。

■ 磯山りょう

4) その他



20%削減という数値目標ばかりが一人歩きをしている現行の公共施設マネジメントの大きな枠組みにとらわれず、個別の事案について、適宜対応してゆくべきと考えます。たとえば、花小金井武道館はまさに総論賛成各論反対となる案件です。総論賛成各論賛成として市民に受け入れていただけるような運営を 今後は していかななくてはなりません。人口減少社会を迎える今日、限られた財源をもって 市政運営をしていく中では、耐用年数を迎える公共施設の新に当たり近隣公共施設との統廃合を検討していくことも必要になることかと思えます。丁寧に当該施設の近隣住民をはじめとする市民の声を聴きながら、当該地域に必要な公共施設の機能・役割を考え、公共施設マネジメントを進めて参ります。



「わたしたちのまちのつくり方」で検索してください。
<http://watashimachi.main.jp>

わたしたちのまちのつくり方 問い合わせ先：神尾 直志
 電話：080-5071-0255 E-mail：kamihoo2011@gmail.com

公共施設マネジメント(公共施設に再編)について

これまで公共施設マネジメントに限らず、小平市のまちづくりの計画は、大きな方針は行政側で決定済みであり、市民参加の説明会やパブリックコメントで出された市民意見は、大きな方針に関わる部分に変更されず、市民参加は限定的でした。

しかし、公共施設の再編成は住民の暮らしや地域への影響が多大です。小平市公共施設マネジメント推進計画(2017-2026)では、期間の中間である5年を目途にローリング方式で見直すとしております。

Q 今後の公共施設マネジメント見直しについて、自治基本条例第3章(参加と協働)を尊重されると思いますが、あなたが市長になったら、小林正則市長時代の参加と協働をどのように進化させますか?

■ 小林洋子

公共施設の再編は、現代日本の地方自治体における最大の課題である。増やす分には市民の同意も得られやすいが、今後取り組まなくてはならないのは縮小である。



縮小を前提とした公共施設の再編において住民参加で計画を作っていくことは必須である。それには時間も労力もかかることが前提になってくる。しかし、時間・労力がかかるからといって従来通りの住民参加では住民との対立を招きかねない。

住民参加型のワークショップで計画を0ベースから作り上げていくという気概を持って取り組みたい。

■ 磯山りょう

最後の決断・決定をすることは、行政の長である市長の役割であるとまずは認識をしたうえで、そこにいたるまでの過程に、市民参加・市民の声をきく努力を、怠っ



てはいけないことを理解しております。意見交換会やパブコメは、回数をこなし、その機会を設ければいいというものではなく、市長と市民との間で対話をし、ありたい姿のすりあわせをすることが重要であると考えます。行政の長として、なにを考え、なぜその決断に至ったのかを、丁寧に説明する場を設け、またそれらを積極的に広報して参ります。



4月4日(日) 小平市長選に行こう!

期日前投票も可能です。 3月29日(月)~4月3日(土) 8:30~20:00 健康センター4階
3月31日(水)~4月2日(金) 8:30~20:00 4月3日(土) 8:30~17:00 東部市民センター
3月31日(水)~4月2日(金) 8:30~20:00 西部市民センター



「わたしたちのまちのつくり方」で検索してください。
<http://watashimachi.main.jp>

わたしたちのまちのつくり方 問い合わせ先：神尾直志
電話：080-5071-0255 E-mail：kamihoo2011@gmail.com